

実りと焼き芋を楽しみに

五郷小学校 3密避けサツマイモ苗植え



「安納芋」の苗を丁寧に植える小学生たち

熊野市五郷小学校（上林和弘校長）の全校児童十二人が二十五日、学校の畑でサツマイモの苗を植えた。十八日に学校が再開し、この日から平常授業となったが、新型コロナウイルス感染症防止のため、三密（密閉・密集・密接）を回避しながら久しぶりの野外活動を楽しんだ。サツマイモを育てることを通じて就労の尊さ、生産の喜びを体得させるとも



植え方を指導する奥野教頭

に、学年の異なる児童が一つの目標に向かってともに楽しく触れ合い、交流すること、仲良くする気持ちを養うのが目的。グラウンドに集まり、児童会副会長の舛屋雄樹君（六年）が「焼き芋を楽しみに、みんなで協力して苗を植えましょう」と挨拶した。焼き芋にすると蜜が出るほどの甘さがある「安納芋」の苗七十五本を学校で



間隔を開けて座り説明を聞く児童

用意し、奥野和秀教頭が「苗を深く植えて下さい」と植え方を教えた。教職員が畝を作り、雑草を防ぐために五、六年生がマルチを敷いた畑に、密を避けるため学年別

に入り、作業を開始。子どもたちは、穴を掘って安納芋の苗を丁寧に植栽。植物を育てるための苦労と、実るために何が必要かも学んでいた。今後は水やりや除

草作業を行い、十月に収穫して実りを楽しむ。十一月には、小規模な焼き芋パーティーを計画している。